



開校50周年に寄せて

学校長 鈴木 教子

都立荏原看護専門学校は、多くの関係者の皆様、歴代の教職員・学生の皆様に支えられ、今年度、創立50周年を迎えることができました。

コロナ禍の中、皆様へのお披露目とお祝い設けることができず残念ですが、記念の節目を祝いつつ今後の学校のさらなる発展への契機とするために、ささやかながら今できる企画を教職員一同で考え取り組んでまいりました。

卒業生、関係者の皆様には、思い出のエピソードや近況、応援のメッセージをたくさんお寄せいただきありがとうございます。心のこもったメッセージを拝見し、歴代の先輩方が大切に紡いできた、本校の温かく親しみのある校風を伝承していく責任を改めて痛感いたしました。

お寄せいただいたメッセージは、本校の半世紀の軌跡を一覧できる年表とともに学内に展示し、ホームページ等でも紹介させていただきます。

これからも、学生・教職員ともに「荏原看学でよかった！」と思っていただけるよう精一杯努めてまいりますので、諸先輩方には、引き続き温かいご支援をお願い申し上げます。

50th Anniversary



開校50周年に寄せて

同窓会代表 会長 今鷹 瑞



荏原看護専門学校開校50周年、おめでとうございます。

私は4回生ですから、入学したのが46年前になります。寮生活をしてきた私にとって荏原看護専門学校は第2の故郷のようなものです。辛かったこと、悲しかったこともありましたが、それ以上に楽しい思い出で埋め尽くされています。何より友人と生活を共にしながら学んだ3年間の経験は、人生の糧になり今に繋がっていると思っています。

心より荏原看護専門学校に「ありがとう」とお礼をさせてください。

これからも75周年、100周年と迎えることができることを祈っています。

50th Anniversary



4回生 菊地 まゆみ

将来の生活の為や家族の健康管理の為に医療知識を得たいと看護師を目指して荏原病院に就職し、5年後結婚し現場を離れました。20年後に再就職して今日に至りますが、今年のコロナで荏原病院は大変な状況です。患者さんやご近所さんにも「頑張って下さいね」と気づかってもらい、ブルーインパルスや飛行機や花火、日本中からの差し入れなど皆さんのお気持ちにとっても感謝しています。その事を通して私たちの仕事は自分たちだけの為ではない事を改めて感じました。

育児や介護等いろいろな問題で看護師を続けられない人たちもいると思いますが、私たちの仕事は日本の為に必要な仕事です。どうか続けてください。

離れている人たちはもう一度、復職を考えてみて下さい。あなたを待っている人がいます!!

50th Anniversary





4回生 有山 寿美子

私が入学卒業して、46年も経つのかと思いながら、途中、30年近くのブランクがありながら復職したのは、看護師をやりたいと思う気持ちと、復職できたのは荏原の卒業生という自信だと思います。学園祭や体育祭の楽しい事以上に、厳しい先生達の実習は辛かった。だからこそその自信です。コロナのような感染症が蔓延する世の中など想像もしていませんでしたが、微力ながら

片隅で毎日頑張っています。

今、私たち看護師を、求めてくれる人の為に、頑張れる看護ができることを願っています。
最後に、荏原看護学は、本当に、良い学校でした。
これからも長く続く事を祈ってます



50th Anniversary





4 回生 藤島 民子

～メッセージ1～ 継続は力なり

仕事を始めて数年間は‘本当に自分に合っているのかな’‘ほかにやるべきことがあるんじゃないかな’と迷って、いつも 辞めたい！ と思っていた。その後、結婚・出産でそんなことを考える時間が無くなり、病気もせずに働き続けてきた。老夫婦二人の生活になった今は、仕事に行くことが心の支えとなっている。色々なことがあったけど、やはりナースの仕事の続けてきてよかった。今は私の自信になっている。

～メッセージ2～ 資格は一生もの

今の世の中はとても複雑で情報過多である。ここ数年は自然災害も多く、特に今年はコロナという未知のウイルスで多くの人が苦しんでいる。その中で看護師という職業は不必要と言われることがない。日本中に病院や諸施設があり、赤ちゃんから老人までお世話することができる。すべての人は人生のどこかで接する職業だと思います。

「看護師」という資格を大切に、そしてその資格を持つ自分を誇りに思ってください。

50th Anniversary





母校に感謝！

荏原病院に就職したての頃のこと、実習にいらした顔見知りの後輩が嬉しそうに寄ってきて、新米の私を頼りにしてくださって、内心ドギマギしたことを思い出します。

その後数カ所異動、検診や地域看護も携わりました。定年退職前の最後の病棟では同窓生が4人、すごいことです。30年以上の時を隔て同じところで学んだ方々とても心強く、難題も乗り切ることができました。学校でお会いした方々全てに感謝しています。

寮生活の思い出

寮生が多い昭和の頃に入学しました。寮はグループ分けされていて、上級生が企画して新入生を東京見物に連れて行って下さいました。私たちは浅草へ。五反田から地下鉄乗り換えでの初お出かけだったと思います。優しい上級生でした。お名前忘れてしまいました。ありがとうございました。

携帯電話など世になく、寮生への電話は当番が受けて放送で呼び出していました。教室でも部屋でも大体標準語を互いに使っていましたが、郷里のご家族と話すときの言葉、何語？っていうくらい方言の違いに驚きました。自分もそうなのに！

その頃の大田区は大気汚染がひどく、突然呼吸困難が起きたことがありました。助けて下さったKさんありがとう。

濃密な3年間、いつも周りに助けられての生活でした。





4回生 森 千恵子

変化が激しい毎日、明日なにがあるかわかりません。
今は在宅介護の世界で若い人に迷惑かけながら（笑）、
一生懸命頑張ってます。

目の前一人の笑顔の為に、力を集結するチーム作りの
難しさ、諦めたくなる事あるけど、諦めない！
キムタクみたいに、

『上等じゃないか、やっちゃえ、私。』

荏原卒業生の名に恥じないように、医療従事者の端っ
この端っこで、頑張ります。



50th Anniversary





5 回生 小島 祥子

一番に思い出されることは、3年生の夏、実習の総まとめで事例のまとめに取りかかっているとき、授業実習とかかわっていただいた先生が突然異動になる、ということを知り、私たちは、この大事なまとめの時期に指導の先生が異動になるのはおかしい、1年を通してみてもらいたい、異動を取り消してほしい、と要求し、3年生ほぼ全員で授業をボイコットしたのです。何回も話し合いを重ねたのですが異動はかわらず、3年生におとがめもなく授業は再開されました。「反応のない子どもたちよ」と何かの先生に言われていた5回生でしたがそのときはまとまって真剣に話し合いをしたことが忘れられません。今思えば無茶なことをした、と思うのですが、その時は必至でした。いい思い出です。

50th Anniversary





南田 正枝（旧姓：脇田）

在学中の思い出は多くあるような気がしますが、42年がたち思い起こすのは容易ではありません。鹿児島県の沖永良部島から18年出たことがなく、学校生活や寮生活には不安だらけでした。勉強や実習は大変でしたが、寮では1年生から3年生でブロックがあり、先輩から歓迎会をしてもらいました。初めてのお酒の味や夜にみんなで作法室に集まり、その頃人気だった「ザ・ベストテン」を見るのが恒例でした。このようにして、だんだんと学校や寮生活に馴染んでいきました。何がつらかったといえば、たぶん当時は実習が一番つらかったと思いますが、看護師になりたい一心で頑張れたのだと思います。中でも基礎実習を終えてからの各論実習で実習担当の先生から「あなた、本当に看護師になりたいの」と言われ、手術見学ができず、次の実習で見学したことを覚えています。人生にはいくつもの険しい道がありますが、初心を忘れず、希望を持ち諦めなければ道は続いています。今、学校で学んでいる皆さんも頑張ってください。

50th Anniversary



私が荏原看護専門学校に入学を決めたのは、6歳年上のいとこの影響なんです。いとは山形から上京し看護師になったのですが、学生時代（いとは他の看護専門学校でした）はとても楽しそうで、看護師になってからは、いきいきと働き、私にはキラキラと見え、「看護師さんて素敵だな〜！」と思ったのが、私が看護の道に入るきっかけでした。

しかし、いざ、自分が看護学校に入ってみると、たくさんの教科を学ばなくてはならず、確固たる志がない私は、1学年の夏休み直前に、担任教員から「この夏休みの間に、看護学校を続けるのか、辞めるのかしっかり考えてきなさい！」と言われる始末でした。そんな私でしたが、戴帽式で「私は人に寄り添える看護師になる！」とナイチンゲールに誓ったことを思い出しました。

看護学校の3年間を乗り越えられたのは、“看護師になる！”という志しを共にした仲間と、頼れる先生方のおかげでした。学生時代、臨床実習はものすごく緊張したことを思い出します。あの時代、臨床現場の看護師さんたちは、怖かったですよ〜！ 私たちは実習担当の先生が頼りでした。看護師さんと私たち学生の間に入り、いろいろな調整して私たちを守ってくれていました。ですので、実習が終わると先生との実習打ち上げは毎回で楽しい思い出です。これからも、都立荏原看護専門学校から巣立ったみなさんが、場所は違えど、どこかで看護の道を歩んでいるかと思うと、とても心強く、胸があつくなります。

在校生の皆さん学生時代の3年間は、つらい事もありますが、看護師としての実践をしていくための原点になることと、そこでの仲間はとても大切なかけがいのない仲間になります。

みなさんと、臨床現場で一緒に看護することを楽しみに待っています。

荏原病院にて／実習グループと



16回生 齋藤 美紀（旧姓：寺田）

No. 1



卒業旅行



小児病棟 クリスマス会

今振り返ってみても荏原看護学での3年間は本当に充実した3年間でした。学校生活、実習、寮生活といろいろな思い出はありますが、やはり一番の思い出は寮生活でしょうか。様々な地域からの入寮生がいて東京出身の私はたくさんの刺激を受けたことを思い出します。今のよう
に携帯電話、SNSなんてない時代です。寮には10円玉を入れる公衆電話が3台あり、夜は順番待ちでした。友達の部屋で遅い時間まで話をしたり、実習の時は記録で眠れず励ましあい、国試の前はほとんど徹夜で問題を出しあたりと、いろいろな場面を思い出します。寮生で洗足池の花見、卒業旅行も行きました。とにかくよく遊んでよく学びました。仲間がいてくれたことでどんなに辛い時でも辞めたいと思ったことはありませんでした。



卒業後、今は廃院となりました都立母子保健院の新生児・未熟児病棟に配属になり約7年間、小さく生まれたお子さんたちとの出会いがありました。結婚を機に退職し、その後健診業務などを経て、現在は都内の児童発達支援センターで仕事をしています。運動、ことば、社会性などの発達に支援が必要なお子さんたちの通所施設です。小さく生まれたお子さん、知的や運動に遅れのあるお子さん、医療ケアのあるお子さん、育児に悩み、戸惑い、たくさんの不安をかかえている保護者の方に寄り添いながら日々過ごしております。気がつけば定年まで残り数年です。



時は令和となり、コロナ禍で様々な生活様式が変わり、変化を受け入れなくてはなりません。在校生のみなさま、10年後、20年後どんな看護師になっているでしょうか？どんな未来がみなさんを待っているでしょうか？どんな時代でも希望をもって前に進むこと、どうか諦めないでください。これからみなさまのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

50th Anniversary



18回生 A. M (旧姓:T)

自分が卒業してもう30年、今の自分があるのは荏原看護専門学校
の諸先生及び関係者の皆様のおかげと
思っております。学生時代の思い出
として1番心に残っているのは在学中、
実習で忙しく、仲間達と励まし合っ
て頑張った事です。笑って泣いた3
年間、様々な体験と勉強をさせて頂
きました。

そして今、私が後輩の皆様
に言える事は積極的に体験して
下さいという事です。勉強も勿論
大切ですが、目でみて触って、
聴いた事は勉強した事よりも何
十倍も自分の役に立ち、頭に
残ります。是非行って見て下さ
いね。そしていつの日か皆様と
一緒に働けたらと思います。



50th Anniversary



在学中は、授業や演習、実習などで忙しく目まぐるしい日々でした。時にレポート作成が終わらず眠れなかったこと、実習で緊張したこと、国試対策にみんなで一生懸命やったこと、いろいろありましたが今では素敵な思い出となって糧になっています。

在校生の皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしています。 (34回生)

在学中は日々の授業、テスト、実習、事例検討に国試対策…、何度も徹夜し、大変だったことが沢山あったはずですが。しかし、思い出すのは共に過ごした仲間やどんな時も引っ張り、寄り添ってくれた先生たちとの楽しかった思い出ばかりです。大切な母校、荏原看護専門学校に幸あれ！！ (36回生)

50th Anniversary





40回生 山口 りか（旧姓：間中）

私が入学したのは10年前の2010年、40回生でした。入学式当日に提出する書類を忘れ、もの凄く焦った思い出があります。

在校生の皆様、学校は楽しいですか？1年生は初めての病院実習、初めての患者さんとのコミュニケーション。初めてだけで大変ですね。私は初めて受け持たせていただいた患者様のことは今でもよく覚えています。緊張や不安でいっぱいの実習かと思いますが皆さんが今できる限りの看護を患者様に提供できるように頑張ってください。誠実に対応すればぎこちない手技でもきっと患者様は喜んでくれると思います。

戴帽式を終えられた2年生の皆様、戴帽おめでとうございます。ナースキャップをもらった時、看護師に1歩近づいたと嬉しく思ったと同時にこのまま看護師を目指し続けて本当に自分は大丈夫なのかと少しだけ不安に思った記憶があります。いよいよ本格的な実習になりますね。長い長い各論実習、書いても書いても終わらない13領域、日に日に減っていく睡眠時間。点線か実線かよくわからない関連図。大変という言葉では収まりきらない実習生活ですね。実習メンバーと支えあいながら乗り越えて行ってください。

3年生の皆様は実習が終わったと思ったら国試。国試合格100%と言われるとプレッシャーですね。毎日コツコツ勉強していけば大丈夫です！！第110回看護師国家試験、頑張ってください。

看護師になっても辛いこと、大変なことは沢山あります。楽しいことも嬉しいことも悲しいことも沢山経験します。色々な患者様と出会い、色々なことを学ばせてもらいます。患者様の気持ちに寄り添うことができる看護師になってほしいです。

50th Anniversary



看護学生時代の多忙な日々で培った強かさや共に苦楽を共にした仲間は一生の財産になりました。LGBTsを理解して一緒に考えてくれた当時の先生方や事務の方にはとても感謝しています。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

(40回生)



看護学生時代に苦楽をともにした仲間とは、今も仲が良く一生の友となりました。洗足池から荏原看学までの桜並木を今でも懐かしく思います。こうして50周年の節目を歴代の先生、事務の方々、先輩、後輩と祝えることはとても幸せな事だと感じております。

(42回生)

50th Anniversary





母校を想うとき、旧校舎と新校舎の二つの建物が頭に浮かびます。43回生の私は旧校舎から新校舎への移行期に在籍していました。旧校舎は古い建物でしたが、いつも掃除が行き届いていて、薄暗い半地下に食堂があって、お昼にはパン屋さんが来てくれたり、先輩方の合格祈願お餅つきの準備をしたり…なつかしい思い出がいっぱいです。

卒業式は体育館がまだ建設中だったので、大田区の会館でスーツを着用しての卒業式でしたが、最後に実習着を着られないことで当時は大ブーイングでした（笑）それもまた今は良い思い出として印象深く残っています。

私は卒業後に急性期病棟で3年経験した後に転職し、二次救急の救急病棟から今はコロナ病棟に勤務しています。そこでは荏原で学んだ授業内容やスタンダードブリーチンといった基本技術が生かされているのを感じています。正しい知識はもちろんのこと、正しい技術を教えてくれた母校での学びは私の宝物です。学生の皆さんはまだ実感がわかないかもしれませんが日々の授業や課題、グループワーク等すべてが臨床で活かされています。

日々の学びを確実に身に付けて、素敵な看護師になってください。

応援しています。

50th Anniversary





11回生 卒業式





第48回生

戴帽式



第11回生



第36回生 荏原病院にて

